



コロナ禍で経営に悩む中小個人事業主の方、就活に悩む若者たち、NPOで働く方、どなたでもご参加ください！

2021 ZENKO IN 大阪 協同組合運動分科会

「協同労働」を推進し、なかまや若者たちと協同して「働きがい・生きがい」をつくる事業体をつくろう！

日時：7月25日(日) 9:30~12:00

場所：エル・おおさか

政府自治体のコロナ禍対応により、飲食業・観光業・アパレルを営む中小個人事業が休業廃業に追い込まれています。その影響を受け、非正規労働者・女性・若者の失業者・生活困窮者が増加しています。コロナ禍は、社会の格差・不平等を可視化しました。「今だけ、金だけ、自分だけ」の資本主義のもとでは、私たちの命と暮らし・環境・地域社会を守ることは出来ません。コロナ後のポスト資本主義の社会のキーワードが「協同」で語られる機会も増えてきました。「コロナ禍で、競争ではなく協同が力を持つ時代になった」ジャック・アタリ（フランスの思想家）。

昨年12月に全会一致で可決された労働者協同組合法の施行（来年12月）を前に、国会で全会派が参加する「協同労働推進議員連盟」が発足しました。各地方レベルでは「協同労働推進ネットワーク」の組織化がすすんでいます。事業体の業種・形態は様々ですが、協同労働に関心を寄せる中小個人事業者や、協同労働をテーマに就活する学生も増えています。

会社に雇われて指示に従い、株主利益のために働く「雇用労働」とは違い、「協同で出資し、経営し、労働する＝協同労働」を通じて社会に貢献し、働きがいをもって仕事ができる暮らしを求める若者たちのために、私たちは何ができるのか。また、コロナ禍で競争が激化し窮地に追いやられる事業経営を「協同」の力でどう乗り切るのか、学びと対話を通じて、その方針を決めていきたいと思えます。

【内容予定】

●基調報告

●動画上映①：「NHKクローズアップ現代5分でわかる協同労働」

●動画上映②：「ワーカーズコープ協同労働への招待（33分）」

●報告：協同労働実践報告「ワーカーズコープ東京東部事業所（藤平さん）」

●参加者からの実践報告&フリートーク

問い合わせ先：かどの／090-3271-8514 おおた／090-3272-6447